

月夜の家

北原白秋

壊れたピアノに、
壊れ椅子、

誰か月夜に弾いててか、
誰もいもせず、音ばかり。

白い木槿に、
青硝子、

母様もしかと来て見ても、
中には月のかげばかり。

ときどき光る、

眼が二つ、
黒い女猫の眼の玉か、
それともピアノの金の鉸。

壊れたピアノに、
壊れ椅子、

誰が弾くやら泣くのやら、
部屋には月のかげばかり。

空には七色、
月の暈、

いつまで照るやら、照らぬやら、
壊れたピアノの音ばかり。